

南病棟8階における取り組み

～みんなが笑顔になるために～

- 当病棟は、皮膚科・脳神経内科・消化器肝臓内科の混合病棟です。
- 入院期間が1週間前後の手術や内視鏡治療、長期入院や入退院を繰り返す慢性期疾患、小児から高齢者まで、入院患者さんの概要は様々です。



70～90歳代の患者さんが多いだけでなく、顔の皮膚手術を行いガーゼが眼や耳を覆っている、脳神経の障害で見えにくい話しづらい・意識障害や認知機能の低下がみられるなどの患者さんがおり、患者確認の時に注意が必要



患者確認のルールを遵守

- ◎患者さんにフルネームで名乗ってもらうこととリストバンドの患者名の2点で確認する（同定）
- ◎リストバンドのQRコードを読み込み患者さんと点滴・採血スピッツなどに間違いがないか照合する
- ◎食札や点滴ラベルを患者さんに見せて確認してもらう

お名前を教えてください

群大太郎です

群大太郎さん
リストバンドも間違いなし

同定

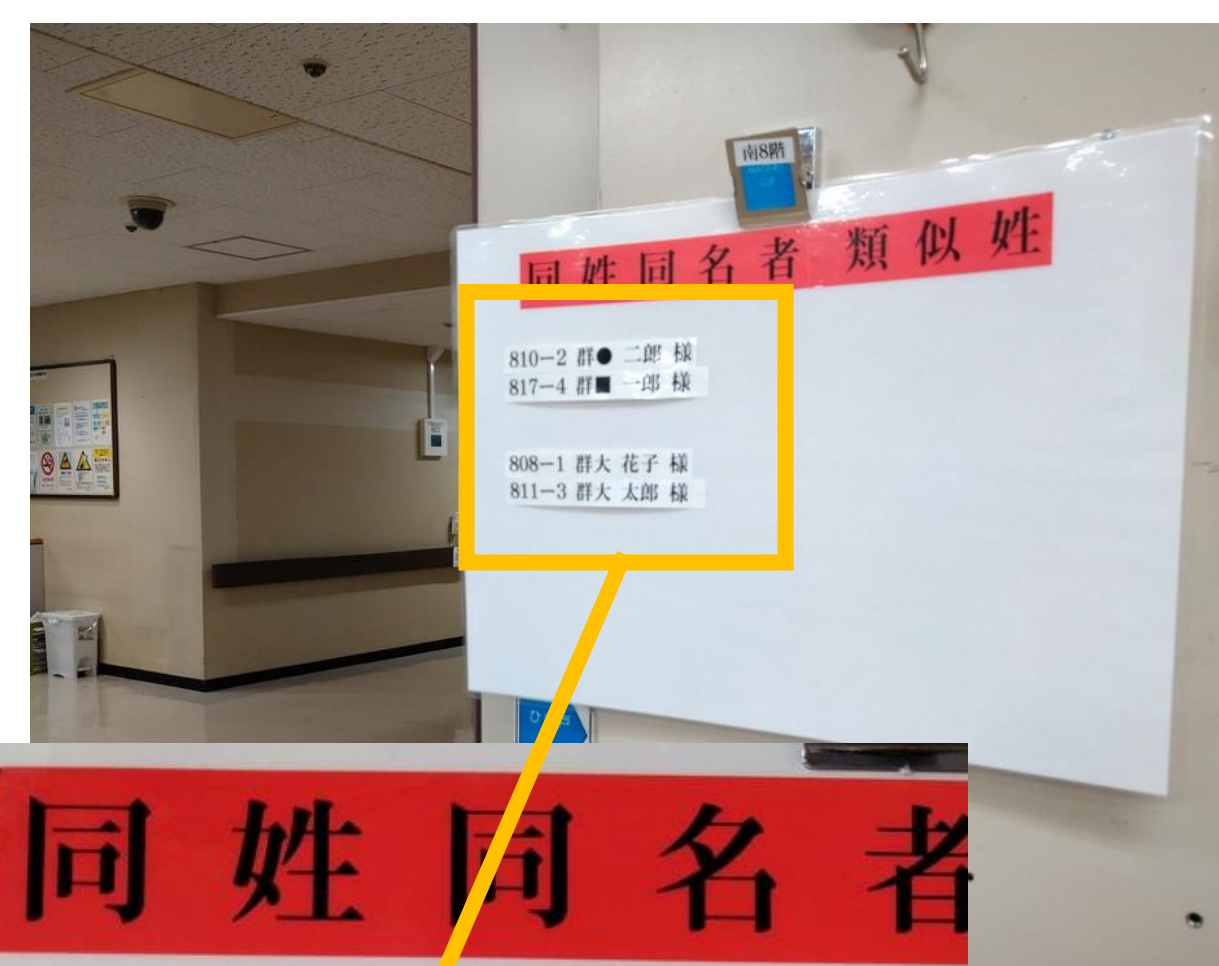
照合

患者さんが名前を名乗れない場合は
リストバンドでしっかり患者確認！
☞指差し呼称！

よし！！

スタッフみんなで患者間違いを防止

- ◎朝・夕の申し送り時に同姓同名・類似姓者の病室・名前を読み上げてスタッフに注意を促す
- ◎スタッフステーション内に同姓同名・類似姓者の病室名前を掲示して、病棟スタッフみんなに注意を促す



同姓同名者

810-2 群● 二郎 様
817-4 群■ 一郎 様

808-1 群大 花子 様
811-3 群大 太郎 様

病棟クラークが
作成し入院案内時から
気を付けています

- ・新型コロナウイルス対応に伴う病床編成により当病棟における消化器肝臓内科のベッド数が大幅に増床し新たに関わる疾患・治療を学ぶことが必要
- ・外来診療や内視鏡検査などで忙しい医師と連絡が取れず患者さんや家族対応が遅れることを防ぐ必要がある



新しい疾患・治療への対応

- ◎医師と病棟勉強会を随時開催
看護師全員がいつでも学べるように勉強会の動画を撮影
- ◎クリニカルパスを活用
予定を把握しやすく患者さんに統一した説明ができる
- ◎消化器肝臓内科を経験した看護師と協力して、治療や入院対応を行う



医師との連絡方法の見直し

- ◎定期的に（朝・昼・夕方に）医師とリーダー看護師で連絡を取り報告や指示確認などを行う
- ◎消化器・肝臓・膵臓胆道 各チーム毎に医師連絡票を分かりやすく掲示
- ◎チームの医師が不在時でも連絡が取れる医師を明確にしておく

お互いにコミュニケーションを取り合い
チームワークの向上につなげていく！

- ・患者さんや家族を長く待たせない
- ・スタッフ同士の信頼関係を保つ



- ✓ 患者確認のルールを遵守します
- ✓ お互いにコミュニケーションを取り合いチームワークを高めていきます
- ✓ みんなの笑顔に繋がる安心・安全な医療を提供していきます

